第4回建築デザインアワード
長町緑地に建設する公衆トイレ

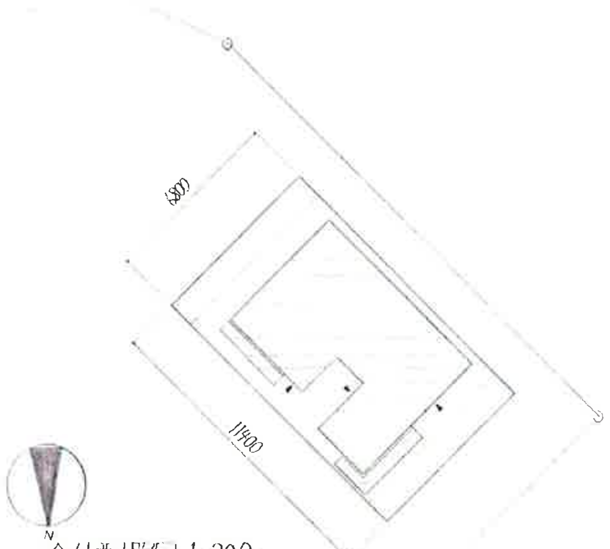
コンセプト

このトイレを設計するにあたり個室を広くとるようにしました。横幅を広くすることでお土産などの荷物を置く棚やベビーシートを設けることができ機能的なトイレとなっています。棚やベビーシートを使わない時はたたんでおけるので背の高い方や体格のよい方も広々とトイレを使用することができます。

個室の戸は全て引き戸となっているため荷物を多く持っていたり子供を抱えたりしている場合であっても楽に戸を開けられることができます。

耐震上配慮した点は「柱を多く入れたこと」です。梁を多くかけ地震の揺れに耐えられるように柱を向かい合うように壁に入れました。また個室の壁の一部にも柱を入れて強くしました。他にも「湿気がこもらないようにすること」にも配慮しています。金沢は降水量が多く湿度の高い地域であるため木造のこのトイレは湿気がこもってしまうと木が腐朽し耐震性も低下してしまうと考えられます。それを防ぐために外壁の素材を土としました。土壁には「吸湿」をする性能があり建物内部の湿度を低減し一定に保つ効果があるため木が腐朽しにくくなり耐震性の低下を妨げられると思いそのようにしました。

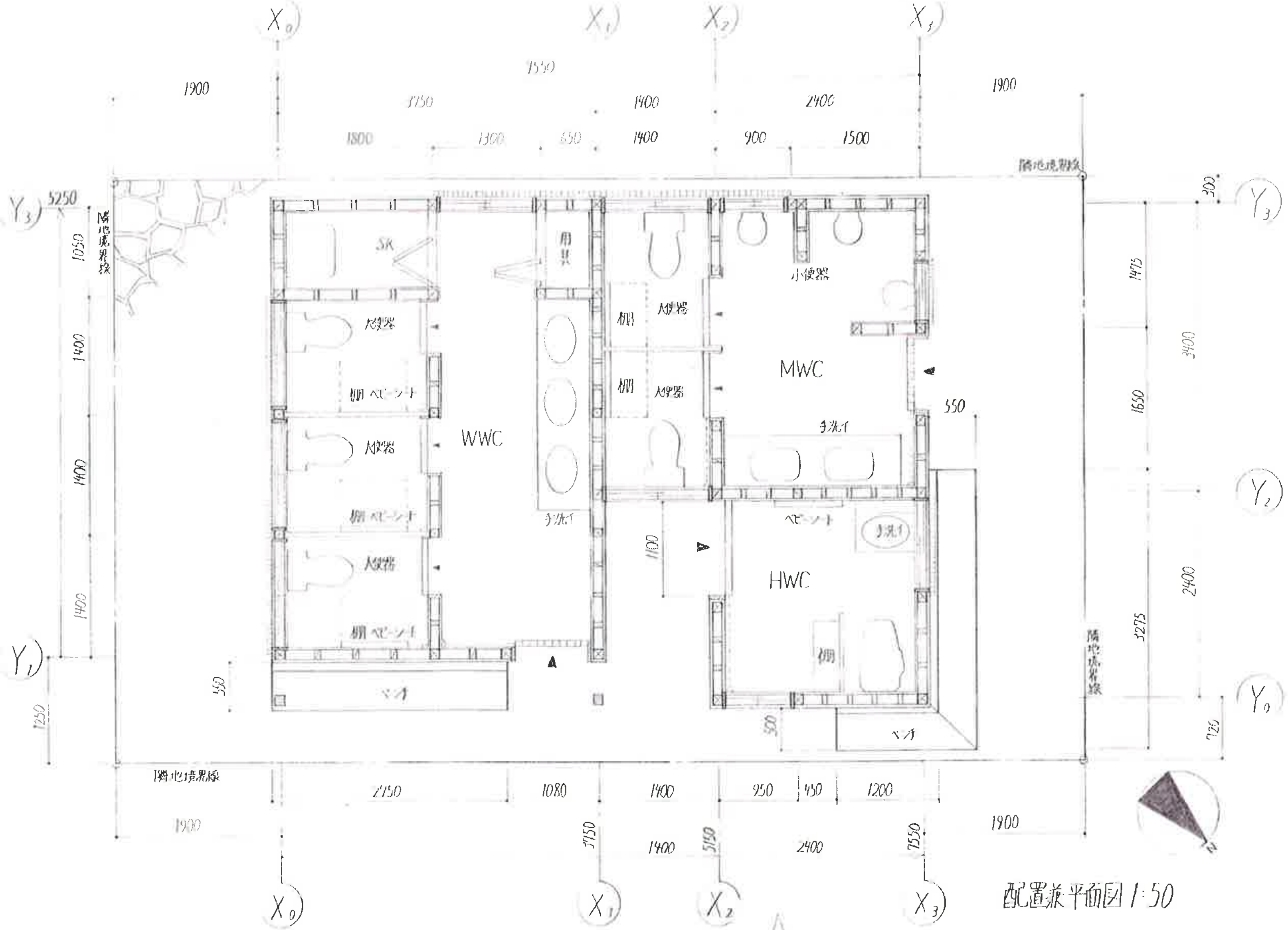
個室の戸は男性用と女性用とを合わせて5枚あるので戸にも加賀五彩の5色を使用したデザインとしました。



全体配置図 1:200

面積表

敷地面積	6.8m × 11.4m = 77.52㎡	77.52㎡
延べ面積	(5.25×3.75)+(3.8×3.4)+(2.4×2.4)+(1.4×2.4)+(0.55×3.75)=43.79㎡	43.79㎡
建築面積	7.55×5.8 = 43.79㎡	43.79㎡
建ぺい率	(43.79 ÷ 77.52)×100 = 56.488 ≒ 56.49%	56.49%
容積率	(43.79 ÷ 77.52)×100 = 56.488 ≒ 56.49%	56.49%



配置兼平面図 1:50

個室に設けられている棚は折りたたみ式となっているので汚れることが少なくなっています。女性用トイレの個室の棚は低めの位置にありその上にはベビーシートが設けられていて、赤ちゃんを連れた方でも多目的トイレに入らなくてもいいようにしました。

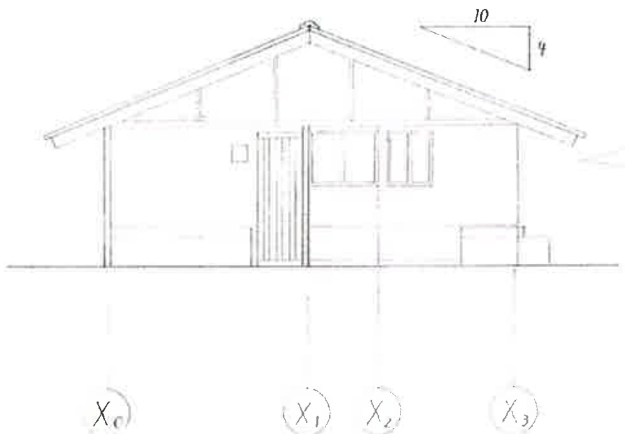
棚の横のスペースは幅が1mほどあるためベビーカーなどを置いておくことができます。

このトイレは全ての入口に戸がついています。男性用トイレと女性用トイレには戸がついていないトイレが多いですがこの戸は開けると音がなる戸であるためその音で誰かが入ってくることがわかり防犯性があると考え戸を設けました。デザインは格子風にし開放的になるようにしました。また格子風にすることで日光も入り通気性もあるため内があまり閉鎖的にはならないと考えました。

入口マーク

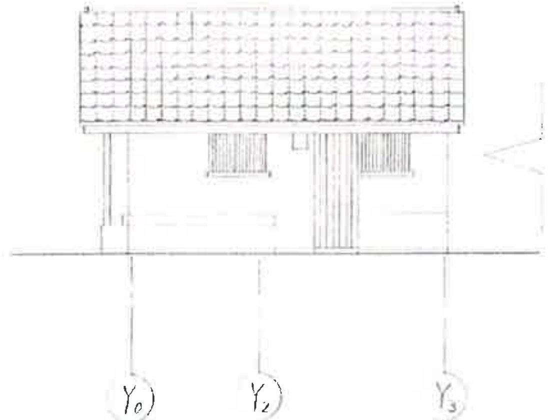
トイレの入口マークには金沢らしさを出すために女性用マークには「ことじとうろう」男性用マークには「雪吊り」多目的マークには金沢駅の「鼓門」を描きました。人のマークでは女性用と男性用は着物を着ているシルエットとしました。

このちつの大きなガラス窓からは日光を多く取り入れることができるので中が明るくなります。またガラスの下の方に「加賀五彩」の5色のラインが入っており石川県の伝統工芸を意識した外観としました。「加賀五彩」や「加賀友禅」を知らない方も知るきっかけになると思い目立ちすぎないようにガラス部分にいれました。



この2つの窓は格子がついておらずそのままでは内が見えてしまう恐れがあるので窓ガラスの下部分をすりガラスとしました。

北東立面図 1:100



格子の間隔は狭く細かくなっているため外から内が見えにくくなっています。格子の木の色は2色を使いランダムにすることで格子自体にデザインをつけ外観に変化をもたらしています。

北西立面図 1:100